

## 松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト2023 入選プラン一覧

### ■ビジネス活用部門

氏名/団体名 [応募順・敬称略]	ビジネスプランの名称	ビジネスプランの概要(抜粋・編集)
松江モノづくり愛好会	[直管型照明灯 兼 換気ファン]のスウォーム制御	冷暖房の季節に密閉される鉄道車両や店舗など、コロナ禍の対策は、利用客の消毒とマスクのみ。エアゾル感染の懸念に対し換気扇新設となると配線や増設工事が必要となり、休業が必須で負担大。配線せずに換気扇を増やす手として「換気扇つき蛍光灯」を考えた。身近な直管型蛍光灯やLED照明灯は自分で交換できる。天井に直管型照明灯があるすべての事業所に使用可能である。
チームフラジャイル	Quality Of Air「健康社会への一助に向けて」	薬品を取り扱う業務に従事する方・会社、薬品を含む資材が取り巻く環境課にいる方等が対象。こういった方々は知らず知らず危険な薬剤に暴露され原因不明の症状に悩まされるリスクを負っている。今回のプランは、空気の状態をリアルタイムで監視し、対象者に知ってもらうためのIoT機器&システムを開発し環境改善の一助とする。
チームi04	大学生向けメンタル/ヘルスケアサポート メンヘルサポート	大学生の親が思う「子どもが健康に過ごせているか心配」と言うニーズに応えるサービスである。大学生が据え置き型と携帯型の2つの端末を利用することで生活情報を取得、データ分析を行い、メンタル面の課題を持つ傾向を洗い出す。その結果を親や子どもへ通知、専門機関へ繋げることでメンタル・ヘルスケアサポートを行う。
角田 徹	Grand Closet	おばあちゃんやおじいちゃんにおしゃれを楽しんでもらいたい家族からプレゼントできる、衣服レンタルのサブスクリプション型サービス。介護の観点から軽さや着脱のしやすさを重視したラインナップを揃えて、収納の少ない高齢者向け施設の入居者に優しいサービスを目指している。

## 松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト2023 入選プラン一覧

### ■学生部門

氏名/団体名 [応募順・敬称略]	ビジネスプランの名称	ビジネスプランの概要(抜粋・編集)
坂根 花音 [出雲商業高等学校]	CRSA(子育て応援アプリ)	SDGsのテーマである「人や国の不平等をなくそう」ということに注目し、健常者と視覚障がい者の不平等をなくしたいと考えた。現在、聴覚障がい者向けのアプリなどが開発されているが、赤ちゃんなどの意思疎通ができない人は使えない。そこで、シート型イメージセンサーで心拍数などを測り、スマートウォッチに異常があれば伝えるというプランを考えた。
チームi06 [島根大学]	ロカ弁	島根大学の学生は、学食利用における食事の栄養バランスと混雑及び自炊の時間に不満を抱えている。飲食店は、コロナ渦で学生が店を訪れる機会が少なくなり、認知度を高めたいと言うニーズを持っている。ロカ弁には、その両方の思いを拾い上げ、受け渡しがスムーズなフードロッカーで飲食店のレシピを元に作成した弁当を販売し、飲食店の宣伝をする。学生が曜日ごとのサブスクリプションを購入し対価を得るサービス。
チームまるたべ [島根大学]	まるたべ	フードロスが問題となっており、スーパーでは廃棄による損失が1億円にも上る店舗がある。また、新型コロナの影響で生活困窮の相談が流行前の3倍以上になっている。このプランは、割引商品を集めた棚をリアルタイムで配信するサービスである。このサービスでスーパーと消費者の新たな接点を生み出し、問題解決を目指す。廃棄にかかる損失削減を対価として、導入店舗からサービス使用料を得る。
出雲商業高校経済調査部 [出雲商業高等学校]	出雲大社観光ガチャアプリ	出雲大社には年間500万人が訪れている。神門通りを歩く観光客に認知されていない「地元の人がおすすする店」情報を中心に出雲大社観光客に店舗とガチャによる「偶然の出会い」をアプリ化し提供する。さらにオリジナル商品による付加価値を付けることで顧客満足度を高める。
松江高专第16班 [松江工業高等専門学校]	ARbook	幼少期における絵本の読み聞かせは、子供の成長に大きな影響を与える。しかし、書店に行き絵本を選び購入するのは手間である。そこで、絵本を電子化しアプリ上で閲覧できるようにすることでその手間をなくすることができるARbookというアプリを、3歳から6歳の児童、またその保護者に向けて販売する。
チームKoekake [島根大学]	Koekake	災害発生時に、自治体は地域の方全員に安全に避難してほしいと考えている。しかし、自力での移動が困難な方が迅速に避難することは困難であり、民生委員や消防団の方が支援しようにも、誰がどこにいるのかわからない。私たちは、移動困難者の一人一人が発信し、近くの支援者とをマッチングするビジネスプランを考えた。